

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ 4	出席委員数	3 名
日 時	平成 2 4 年 7 月 2 9 日（日）午前 1 0 時～正午		
場 所	北方町役場 3 階 第 2 会議室		
【協議事項】（テーマ等）			
①学校教育、子育て支援について			
②次回開催日について			
ー主要意見ー			
・ 児童会、生徒会等、子ども主体でいじめについての会議・活動を行い、子どもがいじめについて深く考える機会が必要ではないか。			
・ 道徳や生活の授業はどの程度あるのか。			
・ 小さな子ども同士の問題に、すぐ先生や親が入ってしまうため、子どもの問題解決能力が低下してしまっているのではないか。			
・ 本当に小さなケガ等でも、先生が電話で報告をしてくれる。ありがたいと思うが、そこまでする必要があるのか疑問に思う。昔は、学校からの電話は、大きなケガや問題だけで、電話があると何事かと緊張した。			
・ 学年の壁を越えて、子ども達が活動する時間があるが、それを日常でも持続させて、高学年が低学年の子ども達を見守るような環境になれば、子どもの社会性や思いやりの心が育まれるのではないか。			
・ 教育委員会は受け身ではないか。 →学校に都合の悪いことは、教育委員会に報告しないのではないか →教育委員会は、学校の全てを把握できていないのではないか →報告を受けてから動く →事後報告ではダメ			
・ 教育委員会と保護者で話し合う機会を作ってはどうか。			

- ・教員の人事異動は、サイクルが早すぎるのではないか。先生が異動してしまう事で、問題が解決されないまま放置されてしまうおそれがある。
- ・教員の評価はどのように行っているのか。例えば、担任するクラスでいじめ等の問題が起こっただけで評価が下がるのか。
- ・いじめが、どの学校の、どのクラスでも存在しているという前提で対応すべきではないか。

－ 次回開催予定日 －

- ・ 9月2日（日）午前10時より